



七滝伝説の地にあるミ二道の駅 こさか七滝

柴田 和博

(道の駅こさか七滝 駅長)

○周辺環境

小坂町は北東北の景勝地“十和田湖”を青森県と共に有する県境の町です。かつては鉱山で栄え、秋田県第二の都市と言われたこともありますが、閉山とともに衰退し、現在は人口5千人程の小さな町になりました。鉱山の付帯物であった“鉱山事務所”“赤煉瓦建築物”“小坂鉄道駅舎”や、労働者保養施設“歌舞伎小屋康楽館”等を資源にした観光の街として存続を目指しています。東北自動車道小坂ICが町内にあることから秋田県内では比較的アクセスに恵まれた立地となっています。

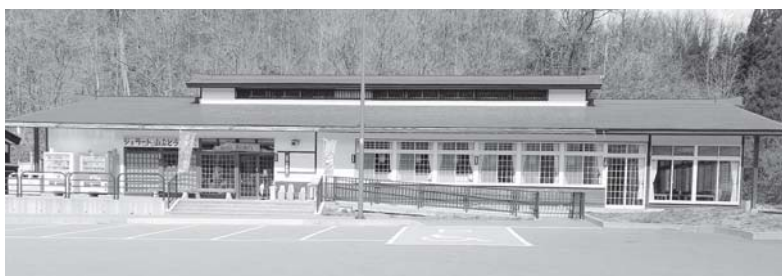
○七滝伝説

当道の駅“こさか七滝”は県道2号(通称“樹海ライン”)沿い、小坂ICと十和田湖の中間に位置する施設です。樹海ラインが開通するまでは、町民以外が余り目にすることが無かった名瀑“七滝”に隣接する道の駅でもあります。この七滝にはちょっとした伝説が存在しています。

かつて七滝地区に住んでいた大地主“孫左衛門”は自分の威勢を示す為に、物を投げ入れることを禁じられていた七滝に大量の薪を投げ込みました。薪が四段目の滝壺に落ちると大鳴動と苦痛のうめき声が響き渡り、全ての薪は水中に飲み込まれ消え去ってしまったのです。孫左衛門はその日から病の床に伏してしまいます。夜、夢枕に傷だらけの大蛇が現れて恨みを語り、孫左衛門を更に苦しめました。実は、七滝はこの大蛇の化身でした。孫左衛門は一心に反省し、この大蛇の為、滝のそばに神社を建立し、自らの罪を償いました。今も彼の子孫をはじめ信心深い人々によって七滝神社は存続しています。

○施設紹介

当施設は駐車場33台の小規模な道の駅です。元々町民いこいの公園に付随する食堂施設を改装して作られた道の駅の為、限られたスペースに売店・産直・食堂をこじんまり配置しています。町中心部から遠く公共交通機関が繋がって



(道の駅こさか七滝 滝の茶屋 孫左衛門)



(新緑七滝)

いない為、町民の利用は少なく、観光利用者向けの商品を主に品揃えしています。食堂メニューは、小坂産豚肉ブランド“桃豚”や小坂産たけのこを使用したものが人気です。

産直では、春はたけのこ、夏は地場産野菜、秋はきのこ・林檎が人気です。

利用者の方は買い物で長時間楽しむよりは、七滝や神社への軽い散策を楽しむ傾向が多くみられます。その為、売店では三種類のおみくじを販売すると共に、滝付近の水車小屋におみくじ掛けを新しく設置し、滝の観賞以外の楽しみを用意しました。また、食堂には七滝伝説を題材にした絵画の掲示を始めました。勿論、当施設からも七滝絶景の眺めを楽しむ事が出来ます。是非、その際には当施設の看板商品“小坂産山葡萄のソフトクリーム”を楽しんで頂けると幸いです。



(山葡萄のソフトクリーム)



(七滝神社のおみくじ掛け)

○今後の課題

短時間で楽しんで頂ける道の駅を目指し、食堂では効率化の為、本年より食券機・給茶機を設置しセルフサービスを導入しています。自動車でのお立ち寄りしか無い為、車内で召し上がれるワンハンドメニューの充実を今後急ぎます。本年9月にはワイナリーが道の駅隣に建設される為、小坂産ワインに合うメニューや商品を用意する予定です。

是非、小坂町・十和田湖にお越しの際はワンストップで“七滝伝説”を楽しめる、ミニ道の駅“こさか七滝”へもお立ち寄り下さいませ。

【道の駅こさか七滝】概要

設置者	小坂町
運営主体	有限会社柴田商店
所在地	鹿角郡小坂町上向字藤原35-3
電話番号	0186-29-3777
路線名	県道2号
登録年	平成22年
主要設備・施設等概要	売店、食堂、産直、休憩所、緑地公園
駐車場	普通車33台、大型車4台、障害者用2台／計39台
営業時間	9時から17時(食堂は10時から15時)
休館日	平成29年度(営業期間:4/15~11/5) 4/18 4/25 5/9 5/23 6/20 6/27 7/4 7/11 8/29 9/12 9/26 10/3 全て火曜日